

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年6月14日（月）

2 確認箇所

F1タンクエリア

3 確認項目

フランジ型タンクからの水の漏えい対策状況の確認

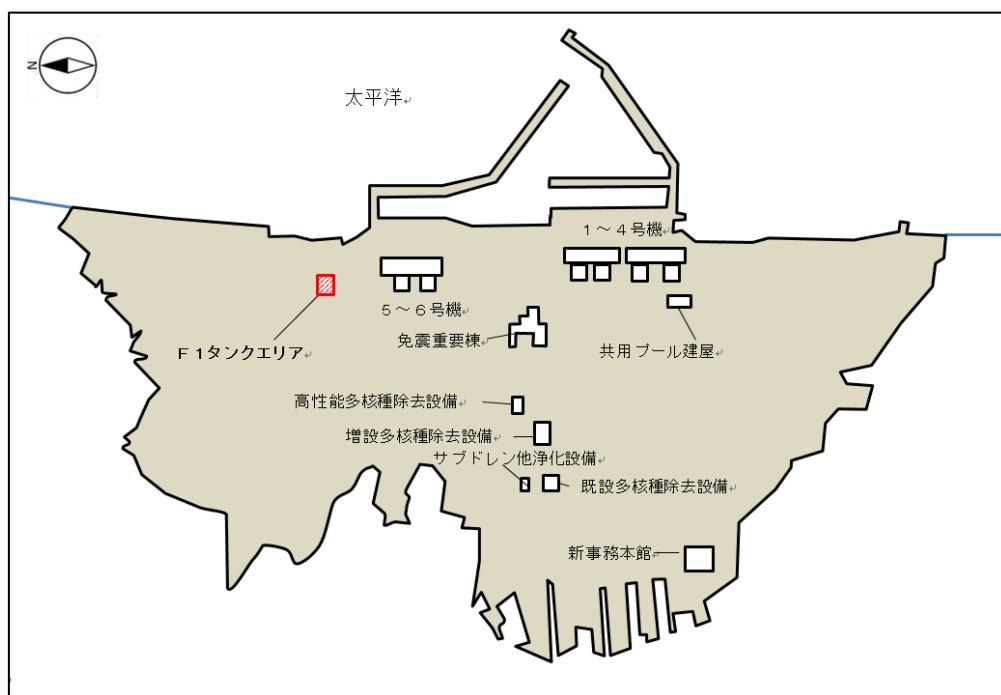
4 確認結果の概要

F1タンクエリアには、ボルト締めフランジ型タンクが計21基設置されており、5/6号機で発生する滞留水の貯留・処理が行われている。本年2月13日に発生した地震により一部のフランジ型タンクから堰内へ水の漏えいが発生したのをはじめとして、5月中旬までに計6基のタンクから水漏れが発生[※]した。東京電力では応急的な措置として、漏えい箇所を止水剤によりコーキング補修を行うこととしていたことから、今回、状況を確認した。

(図1) (写真1)

- ・漏えいを起こしたタンク6基中、3基で止水剤による補修作業が完了しており、現場確認時は補修作業が完了したものから養生シートを取り外す作業が行われていた。(写真2)
- ・また、堰内では補修作業に伴う滞留水のタンク間移送を行うため、移送予定のタンクのタラップに滑り止め措置を講じるなどの準備作業が行われていた。(写真3)
- ・東京電力によれば、同エリアのフランジ型タンクからの漏えいが連続発生していることを踏まえ、パトロールを強化するとともに、タンク内の滞留水の処理を進め、貯留量を減らしていくとしている。

※ 2月13日にタンク2基から水の漏えいが発生し、その後、4月25日にタンク2基（うち1基は2月のものと重複）、5月7日、5月9日及び5月12日にそれぞれタンク1基のフランジ接合部から水の滴下が発見されたもの。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
F1タンクエリアのフランジ型タンク設置状況



(写真2-1)
養生シート取り外し作業の状況



(写真 2 - 2)
フランジ接合部の止水剤による補修
状況 (写真 2 - 1 の拡大)



(写真 2 - 3)
補修が完了した箇所の養生の状況



(写真 3 - 1)
貯留水の移送準備作業の状況



(写真 3 - 2)
トラップの滑り止め措置

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。